

K140.72

2.12

3下

高等小學書キ方手本 第一學年用下乙種

第一學年用下乙種

高等小學書方手本



文部省

嘉。永。安。政。萬。延。文。

久。元。治。慶。應。明。治。

一定の業務に従事する間は之に向つて精力を集中し心絶えて他事に及ばず。官廳會社商店等にて執務するものを見るに始業時に出勤するや直ちに各

自の机に向ひ一定の時間の外には終業時に至るまで喫煙せず喫茶せず雑話せず一心不亂に其の業務に従事すること恰も勇士の戰場に在るが如し。

驚き顔に鳴くひぐらしの
聲一しきり止みにし後を

またたく星に夢護らせて
静かに眠る夜の森林。

設備遊覽觀客珍

禽異獸艷麗豪壯

去歲千軍逼我疆。
今朝孤劍入他鄉。

浮生萬事變如夢。
一片依然男子腸。

清母上様は過去の電報をお見返し言に驚
入の先百束敷度の語を紙にははよと直快方
の様様にこれありあはぬ居の交突結の凶
報にて全く夢かとのみ疑はれを清許様

如め御一統の哀悼の程深くお察し申の語
地のより故名醫も少からず清看護にも
手後とはこれなくと存の何か急に餘病に
てもお親の次第にのや返すぐも残念に存を

來都重菱。漢口漢。

陽武昌。江寧蘇州。

古史通。藩翰譜。讀。

十五

史餘論。折焚柴記。

十六

歲暮中元。度帛粗。

十七

品薄。謝錢別。香奠。

十八

株式會社多人數ノ資本ヲ合同スルモノニシテ全クノ
有限責任會社ナリ。其ノ總資本ヲハ少額ニ等分シ
其ノ一ヲ名ツケテ株式トイヒ又略シテ株トモイフ。一
株ノ金額ハ普通五拾圓ヲ下ラス。而シテ其ノ出資

者ヲ稱シテ株主トイフ。會社ハ株主ニ對シテ證書
ヲ附與ス。其ノ證書ハ即チ株券ナリ。株主ハ其ノ株
券ヲ他人ニ讓リ渡スコトヲ得ルガ故ニ株式會社
ノ出資者即チ株主ノ員數ハ常ニ定セズトイフベシ。

持つ人の心によりて瓦とも
玉ともなるはこがねなりけり。

人知れず思ふ心のよしあしも
照しあくらん天地の神。

人の短を言ふことなかれ。
己の長を説くことなかれ。

人に施しては慎みて念ふ勿れ。
施を受けは憚みて忘る勿れ。

晴精靖鯖。洞桐洞銅。渚楮緒
諸。權勸歡觀。愉諭輸鋤。野厘

量裏賑宸農震。場楊陽腸。綱
鋼剛。城誠盛。俸捧捧。倫論輪。

箱根越す人もあらずし今朝の雪。
宍喰せと刀投出す吹雪かな。

狼の聲掛ふなり雪の暮。
荒熊のかけ散してやまの雪。

鐘田。後蘇波多聖。

正部。能谷。冥。片。桐。

嚴格質朴。刻苦。勉。

勵。用意周到。偉勲。

百里の路を旅行くものは
九十里を以て半とすべし。

九仞の山を築かんとする人
功を一簣に虧くこと勿れ。

作戰計畫。包圍兩。

翼。豫備。背面。聯絡。

月日の過行くは校の飛ぶよりも
速し。昨日今日種を下し苗を移
せし花卉聖菜の花咲き実を結

ぶもしばしの程ぞ。日々の課業と
共に樂しきは我が學校園なり。
待たるものは秋の日にこそ。

明治四十四年四月五日翻刻印刷
明治四十四年六月十五日翻刻發行

著作權所有



明治四十四年四月八日
文部省檢査濟

高等小學書キ方手本
第一學年用下乙種

定價金四錢

著者 兼發行所

文部省
香川熊藏

翻刻發行
兼印刷者代表者

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地
東京書籍株式會社
石川正作

發行所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地

東京書籍株式會社

印刷所

東京市小石川區指ヶ谷町百三十六番地
東京書籍株式會社工場